



双葉郡スタンプラリー「フタバナイン2019」 ふたばクエスト『魔王バラドーナの謎』開催中!

パンフレットに記された謎を解き、双葉郡8町村に隠されたスタンプスポットを探し出す、双葉郡8町村周遊スタンプラリーが開催中です。見つけ出したスタンプの数に応じて、Jヴィレッジご宿泊券やお食事券等の豪華景品が当たる抽選に応募可能。また、参加者には先着で参加賞を贈呈します。ふくしま健民アプリとの連動でスマホでもスタンプラリーに参加可能です。

参加賞の受け渡し及び景品への応募は、Jヴィレッジの売店で随時受付中。



主催：一般財団法人福島県電源地域振興財団
 問 株式会社Jヴィレッジ ☎0240-26-0111 (午前9時30分～午後5時)
<https://quest-futaba.com/>

双葉町グローバル配信スタート!

双葉町では、町の現状や町民の思い、今後の復興に向けた取り組みなど、さまざまな情報を動画で全世界に向けて発信する「双葉町グローバル配信」を開始しました。

「双葉町グローバル配信」は、世界でも類を見ない大地震と福島第一原子力発電所の事故の被災自治体が、多くの困難を乗り越え復興しようとする姿を自ら発信し訴えることで、全世界に正しい理解を促すプロジェクトです。町公式ホームページや町公式YouTubeチャンネルからどなたでも視聴いただけます。



問 双葉町秘書広報課 ☎0246-84-5202

故郷とあなたをつなぐ情報紙

ふくしまの今が分かる

発行：福島県庁
 避難者支援課
 ☎024-523-4250



新聞 vol.76

令和元年11月19日(火) 発行

「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内外に避難されている皆さまや被災者・避難者支援に携わる多くの方々へ、避難者支援の取り組みや福島復興に向けた動きなど「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。



福島県からのお知らせ

台風19号等により被災された皆さまへ

このたびの台風19号及び令和元年10月25日の大雨により、被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。福島県では、被災された方が一日も早く元の生活を取り戻されるよう、被災箇所の復旧と被災者の生活再建に全力で取り組んでまいります。

台風19号災害に関する県等の相談・担当窓口一覧 (令和元年10月31日現在)

相談内容	担当課	電話番号	受付時間
医療に関する相談	地域医療課	024-521-7221	月～金曜日(祝日除く) 午前8時30分～午後5時15分
児童福祉(子どもの養護)に関する相談	各児童相談所または児童家庭課	024-521-8665	
教育に関する相談	教育総務課	024-521-7759, 7755	
経営に関する相談	県産業振興センター	024-525-4039	
生活福祉資金に関する相談	県社会福祉協議会	024-523-1250	
県税に関する相談	各地方振興局県税課または税務課	024-521-7070, 7069	
一般廃棄物、し尿処理に関する相談	一般廃棄物課	024-521-7249	
農林水産業に関する相談	農林企画課	024-521-7319	
県道路管理に関する相談	各建設事務所または道路管理課	024-521-7474	
被災者の住宅に関する相談	建築指導課(被災者住宅相談窓口)	024-521-7698	
県政に関する総合相談窓口	県民広聴室 県政相談コーナー	024-521-7017	月～金曜日(祝日除く)午前9時～正午、午後1時～4時

※上記以外の相談窓口もHPに掲載しております。

※県外で被災された方の支援に関する相談窓口については、お住まいの各都道府県庁にご確認ください。

災害に便乗した悪質商法に注意

被災住宅の修理等については「見積もりをしてもらったつもりが勝手に作業をされ高額な請求を受けた」などのトラブル事例があります。

不審な業者に対してはきっぱりと断るか、修理の必要性や内容、値段が適切か慎重に判断しましょう。困ったときは一人で悩まず、福島県消費生活センターにご相談ください。

問 福島県消費生活センター 相談専用ダイヤル
 ☎024-521-0999
 受付時間 月～金曜日 午前9時～午後6時30分
 第4日曜日 午前9時～午後4時30分

被災者をねらった泥棒や詐欺に注意

現金や携帯電話などの貴重品は、常に持ち歩きましょう。また、車から離れるときは、車内に貴重品を置かず、わずかな時間でも施錠するようにしてください。

市町村の職員が、義援金や補償金などの支給に関して、手数料を求めたり、電話でATMの操作を指示したりすることはありません。また、がれきや泥の片付けなどで金銭の支払いを求められることもありませんので、そのような話があればすぐに110番通報してください。

問 福島県警察本部生活安全企画課
 ☎024-522-2151

福島県のHPでも随時、支援情報を発信しておりますのでご覧ください。

主な被害状況 (令和元年10月31日現在)

※数値は、10月12日の台風19号、10月25日の大雨による被害の合計

- 人的被害 死者:30人 行方不明者:2人 重傷者:1人、軽傷者:58人
- 住家被害 床上浸水:11,962棟 床下浸水:2,602棟 全壊:122棟 半壊:886棟 一部損壊:694棟

ふくしま Voice

帰還した人、起業した人、
 移住してきた人の声を紹介します。

会長の生まれ故郷である川俣町山木屋地区で自動車部品の製造や納豆の製造販売を行っていましたが、震災で避難を余儀なくされ、製造環境を失いました。しかし福島市の企業に声を掛けていただいたことで、先に自動車部品製造を再開することができました。

当時は原発事故による風評被害もあり、納豆の製造再開を諦めかけていたんです。しかし、地域の皆様に支えられてきたことで「山木屋に恩返ししなければ」という思いが強まり、2015年に納豆製造再開を決断。「山木屋から世界一安全な納豆を作る」という目標を掲げ、全力を尽くしてきました。

私たちは、地元の方たちと一緒に製造し続けることを大切にしています。つくづく苦しい時期もありましたが、それでも「地元の絆を分断してはいけない」との思いでものづくりに励んできました。次は、支えられてきた私たちが復興の光にならなくてはなりません。この気持ちを胸に、これからも山木屋への恩返しに取り組んでいきたいです。

Vol.10 神野三和子さん
 (川俣町勤務)



毎朝工場の大釜で大豆を蒸し上げます



川俣町山木屋地区で再開した納豆工場



ご意見・ご感想、お待ちしております!

読者の声

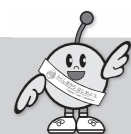
vol.75 アンケートの回答

福島の秋で楽しみなことは?

- 会津みしらず柿を食べること。甘みがあって二日酔いにも良いです。(埼玉県 女性)
- いちじくの甘煮や干し柿等を作り、友人・知人に美味しいと言ってもらおうのが楽しみです。(県内 女性)

記事の感想、取り上げてほしい情報

- ふくしまVoiceの若林さんのような他県から移住してくれている方もいてとてもうれしい。(県内 女性)
- 福島の教育環境の現状が分かりました。子ども達が学習できる場を作るのは、とても大切なことだと思います。(新潟県 女性)
- 地域の生活を支えるお店が浜通り各地へ戻ってきている記事に、現地の確かな復興への足跡を感じました。(埼玉県 男性)



バックナンバーを見れば…ふくしまがもっと分かる!



目次

特集

福島の食の魅力と安全・安心に向けた取り組みについて

- 原賠ADRセンターからのお知らせ
- 福島県復興公営住宅の入居者募集について
- 双葉町グローバル配信スタート!

特集 福島の食の魅力と安全・安心に向けた取り組みについて

福島県では、震災及び原発事故により甚大な影響を受けた農林水産業の再生に向けて、県内外及び国外においてさまざまなキャンペーンやイベント等を通じて、県産農林水産物の魅力及び安全・安心のPR活動を全力で進めています。今回は、福島の食の魅力とともに、県の安全・安心及び販路・消費拡大に向けた取り組みについてご紹介します。



福島の食の魅力 日本一の酒と米、海外への輸出も好調

全国新酒鑑評会で史上初となる 金賞受賞数「7年連続日本一」達成！

平成30酒造年度全国新酒鑑評会の審査結果が発表されました。全国から857銘柄が出品され、福島県の日本酒は、31銘柄が入賞、うち22銘柄が金賞に選ばれ、金賞受賞数で史上初の7年連続(通算9度目)の日本一に輝きました。

新記録達成 福島県の酒 7年連続日本一

全国新酒鑑評会 金賞受賞数 福島県 7年連続日本一

「ふくしまの酒」は100年以上の歴史のある全国新酒鑑評会において、昨年度の記録を更新し、史上初の7連覇を達成！福島県が世界に誇る「ふくしまプライド」をぜひご賞味ください。

喜多市、会津吉の川、夢心、築四郎、金水晶、奥の松、大吟醸きたのはな、会津ほまれ、稲川、会津坂下町、学十郎、一生青春、会津若松市、会津中将、名倉山、南会津町、萬代芳、雪小町、嘉水蔵大吟醸、國権、天栄村、さかみずき、会津宮泉、開當男山、寿々乃井、白河市、古殿町、京の華、田島、廣戸川、有の川、東豊国、藤乃井

平成30酒造年度 全国新酒鑑評会 入賞31銘柄 金賞22銘柄

※独立行政法人酒類総合研究所及び日本酒造組合中央会との共催で開催する唯一の全国規模の酒類鑑評会。令和元年5月17日発表。

ふくしまの酒の購入はこちら

●日本橋ふくしま館- MIDETTE(ミデット)
東京都中央区日本橋室町4-3-16
柳屋大洋ビル1階
☎03-6262-3977
営業時間:午前10時30分～午後8時(平日)、午前11時～午後6時(土日祝日)
※年末年始は変更の場合あり

●福島県観光物産館 大阪サテライトショップ
大阪府大阪市北区梅田1-3-1-900号
大阪駅前第1ビル9階
☎06-7175-9700
営業時間:午前9時～午後5時30分(平日) 午後7時30分まで営業
※土日祝日、年末年始は定休

●福島県観光物産館
福島県福島市三河南町1番20号
コラッセふくしま1階
☎024-525-4031
営業時間:午前9時30分～午後7時
※年中無休。ただし、コラッセふくしま全館休業日を除く

東京でふくしまの酒を飲みたい方はこちら

https://www.fukunosake.com

ふくしまの酒の秘密を知りたい方はこちら

https://fukushima-sake.com/ja/

福島県産米 食味ランキング特A獲得数 2年連続日本一！

一般財団法人日本穀物検定協会が実施している平成30年産米の食味ランキングで、福島県が最高評価の「特A」ランクを4銘柄獲得し、新潟県、山形県と同数で全国トップ、2年連続で日本一となりました。

特Aランクを獲得したのは「会津コシヒカリ」、「浜通りコシヒカリ」、「会津ひとめぼれ」、「中通りひとめぼれ」の4銘柄。昨年本格デビューした、県オリジナル米「里山のつづ」も、参考品種*ながら「特A」を獲得。
※参考品種・・・食味ランキング外で話題性のある産地の品種

特Aランク獲得 平成30年産米

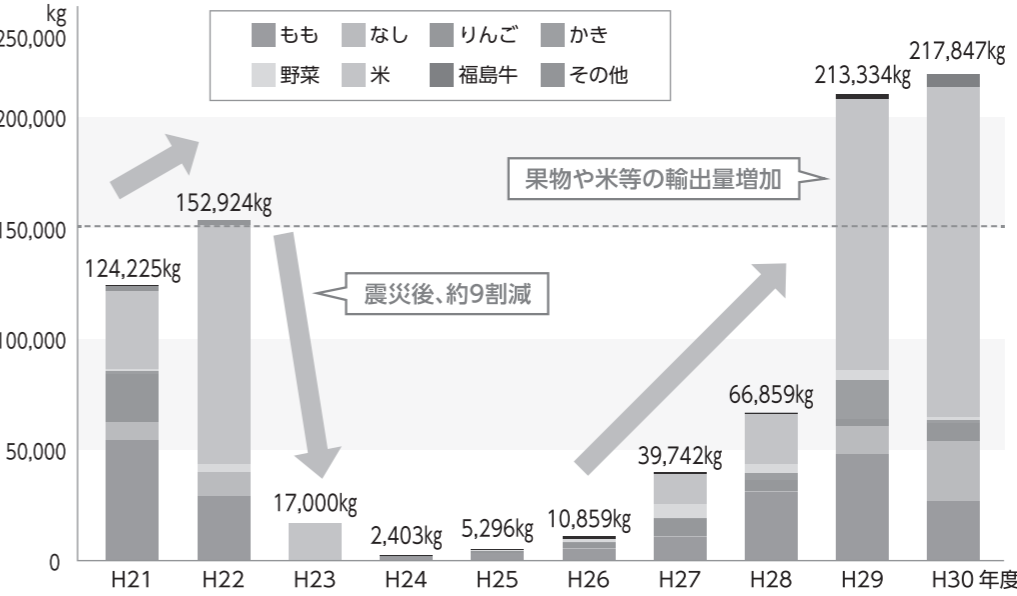
- 「会津コシヒカリ」
- 「浜通りコシヒカリ」
- 「会津ひとめぼれ」
- 「中通りひとめぼれ」
- 「里山のつづ」(参考品種) **新**

問 福島県農産物流通課 ☎024-521-7354 ふくしまの米の取扱店の詳細はこちら

県産農産物の輸出が過去最高を更新！

平成30年度の県産農産物の輸出量は、平成29年度を上回り、過去最高を更新(約218トン)。輸出量が増加した主な品目は、東南アジア向けのナシやリンゴなどの果物のほか、マレーシアやイギリス向けの米、アメリカ向けの牛肉です。福島県では、海外マーケットへの更なる展開を図るため、海外での展示会出展や商談等、輸出拡大に向けた事業者の取り組みを支援しています。

県産農産物の輸出量の推移(平成31年3月31日現在) 注:農産物には「花き」は含まない。



問 福島県産品振興戦略課 ☎024-521-7326

安全・安心な福島の食に向けた取り組み

福島県産農林水産物放射性物質検査結果

福島県では、県産農林水産物の放射性物質検査を実施しています。基準値を超えた食品は市場に流通させず、安全・安心な県産農林水産物を皆さまにお届けしております。

野菜・果物、畜産物等の検査結果(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

種別	検査件数	基準値超過数	超過割合
野菜・果実	1,537件	0件	0%
畜産物	2,098件	0件	0%
栽培野菜・きのこ	491件	0件	0%
海産魚介類	2,830件	0件	0%
内水面養殖魚	33件	0件	0%
野生野菜・きのこ	674件	0件	0%
河川・湖沼の魚類	924件	3件	0.32%

(国のガイドラインに基づき福島県が実施している検査)

問 福島県環境保全農業課 ☎024-521-7342

食品中の放射性セシウムの基準値【食品衛生法】(Bq/kg)

一般食品	100
牛乳	50
乳児用食品	50
飲料水	10

モニタリング検査等の結果をHPで公表しています。

福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報

福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報

https://www.new-fukushima.jp/

米の全量全袋検査

福島県では平成24年産米から全量全袋検査を実施しております。平成27年～平成30年産米に関しては4年連続で基準値を超過した米は出ていません。検査済みの米袋には検査済みラベルが貼付され、一目で検査済みであることが分かります。

出荷(生産者)

生産者は、全ての米袋にバーコードラベルを貼って出荷します。

全量全袋検査(検査機)

米袋のバーコードを読み取り、放射性物質を検査し、安全性を確認します。

消費者

安全なお米が精米されて、消費者の皆さまへ届けられます。

検査済ラベル(玄米用)

福島県 放射性物質検査済

1234-567-8901-23456

ふくしまの恵み安全対策協議会

検査済ラベル(精米用)

ふくしまの恵み

放射性物質検査済の安全なお米です。

福島県では、平成24年産米から除染や放射性セシウムの吸収抑制対策を行うとともに、全ての米を対象に全量全袋検査を実施し、安全・安心対策に力を入れています。

生産年	検査数	基準値*1超過数	超過割合
令和元年産米*2	約68万点	0点	0%
平成30年産米	約925万点	0点	0%

*1 国の定める放射性セシウムの基準値(100Bq/kg) 令和元年9月30日現在
*2 令和元年産米は、令和元年8月26日からの検査結果です。

問 福島県水田畑作課 ☎024-521-7360

ふくしまの恵み

米の全量全袋検査の結果はこちらのサイトへアクセス！検査結果全体の概要だけでなく、玄米の個別の検査結果も確認できます。

https://fukumegu.org/ok/contents/

特集 福島の食の魅力と安全・安心に向けた取り組みについて

販路・消費拡大への取り組み

福島鮮魚便 常磐もの復活への取り組み

福島県では、県産水産物の安全性と美味しさを直接消費者へ伝えるため、首都圏の量販店に常設の販売コーナー「福島鮮魚便」を設置し、専門販売員の対面販売により、本県漁業の現状や水産物の安全性を消費者へ伝える取り組みを実施しています。

取組内容

- 平成30年6月に首都圏等のイオン5店舗に鮮魚便コーナーを設置。以後、順次店舗数を拡大し、現在10店舗に展開中。
- 専門販売員による接客を通じた対面販売を実施。

常磐もの・・・黒潮と親潮が出会う豊かな福島の海で育った魚は、古くから「常磐もの」と呼ばれ、品質の良さと美味しさから高く評価されています。



問 福島県水産課 ☎024-521-7378

ふくしま売米隊(うりこめたい)

福島県産米の販売棚の回復のため、平成30年10月に農林水産部長を本部長とする「ふくしま売米隊」を県職員で結成しました。

活動内容

- 平成30年度は、首都圏を中心に123店の米穀小売店を訪問し、県産米の品質の高さをPRしながら、取り扱いの拡大を依頼しました。
- 平成30年11月には、「福島県産米の試食おすすめ会」として、新米と6次化商品「ごはんのおともシリーズ」の組み合わせをマスコミや米穀小売店に紹介し、その認知度を高めました。

これらの活動により、県外での県産米取扱店舗数は、前年同期比約1.6倍の1,212店舗(平成31年3月現在)まで増加しました。今年度は隊員を5名増やして12名に増強し、年度末までに取扱店舗数1,500店を目指します。



問 福島県農産物流通課 ☎024-521-7377

福島の食の魅力について発信!「ふくしまプライド。」

福島県では、県内生産者が誇りと情熱を持って作り上げた農林水産物の魅力やその思いを「ふくしまプライド。」の言葉に込めて広く発信し、販路拡大と風評払拭につなげていきます。

ふくしまプライドのポータルサイトでは、県内生産者や県産農林水産物を使ったレシピ、テレビCMなどを掲載していますので、ぜひご覧ください。



ふくしまプライド 検索

問 福島県農産物流通課 ☎024-521-7371

オンラインストアの販売!ふくしまプライド便

ふくしまの旬がネットで買えます。

オンラインストア3社【Amazon、楽天市場、Yahoo!ショッピング】において最大20%オフとなるクーポンを配布するなど県産品の販売促進を行っています。平成30年度の販売額は、21億円に到達(平成31年3月29日現在)するなど全国の皆さまにご利用いただいております。

ふくしまプライド便 検索

文部科学省 原賠ADRセンターからのお知らせ

ADRセンターでは、原子力発電所事故による損害賠償について、東京電力の提示条件に納得できない、賠償されない、裁判では手続きが大変そうだ、などと感じられる方々に対して、個別の事情に応じた和解の仲介業務を行っています。国の機関であり、どなたでも申立てができます。申立手数料は無料です(ただし、送料、通信費は要します)。ぜひご利用ください。

当センターでは、個別の事情に基づいて、賠償すべき損害について判断をしていますが、東京電力とは別の基準を策定しています。

例えば、避難指示に伴う精神的苦痛に対する慰謝料については、

- 身体または精神の障がいがあること
- 身体または精神の障がいがある方の介護を恒常的に行ったこと
- 懐妊中であること
- 乳幼児の世話を恒常的に行ったこと
- 家族の別離、二重生活等が生じたこと

などの事情があり、通常の避難者と比べてその精神的苦痛が大きい場合には、中間指針において目安とされた額(原則月額10万円)よりも増額することができる、という基準を設けております(これを総括基準といいます)。

上記のような基準によるところも含め、昨年終局した件数の3分の2を超える事案が和解となっています。なお、次回以降、具体的な和解事例を掲載していく予定です。

問 文部科学省原子力損害賠償紛争解決センター (平日午前9時～午後5時)

- 福島事務所(郡山市方八町 郡中東口ビル2階)
- 東北支所(福島市市民会館503号室)
- 会津支所(会津若松市一箕町松長1-17-62)
- 相双支所(南相馬市役所北庁舎2階)
- いわき支所(いわき市平字小太郎町 いわきセンタービル4階)

※会津支所は毎週月・火・木曜日、会津支所出張窓口は大熊町役場会津若松出張所にて第2、第4水曜日に窓口を開設しています(午前9時～午後5時)。

◇申立てに関する問い合わせ窓口 ☎0120-377-155(平日午前10時～午後5時)



令和元年度 福島県復興公営住宅の入居者募集について

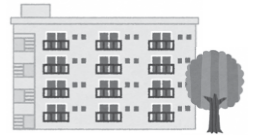
復興公営住宅の入居者の募集を次の日程で行います。

募集の詳細(対象団地、入居要件等)は、福島県復興公営住宅入居支援センターへお問い合わせください。また、入居支援センターのホームページ等でも随時お知らせいたします。

なお、東日本大震災において被災した「地震・津波被災者」及び子ども・被災者支援法に定める「支援対象避難者」で、現在、住宅に困っている方向けの募集は、台風19号の影響で未定となっています。後日、詳細が決まり次第、県のホームページでお知らせする予定です。

募集期間及び入居予定

第5回	令和元年 12月2日(月)～12月13日(金) → 2月以降入居予定
第6回	令和2年 2月3日(月)～2月14日(金) → 4月以降入居予定



問 福島県復興公営住宅入居支援センター ☎024-522-3320 復興公営住宅 入居 検索

避難者住宅確保・移転サポート事業について

福島県では、福島、茨城、栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川及び新潟の各都県で、応急仮設住宅の供与期間終了後の新たな住まいの確保を支援するため、「避難者住宅確保・移転サポート事業」を実施しています。

ご自分で住宅を見つけられずお困りの方に、物件探しや契約時の書類作成などの支援を行い、生活再建を後押しします。

内容	① 電話相談対応 ② 訪問相談対応 ③ 不動産事業者への空き物件の照会、物件情報の提供 ④ 不動産事業者への同行等による物件探しの支援 ⑤ 不動産事業者等との契約手続に関する支援 ⑥ 運送事業者との契約手続に関する支援(転居が必要な場合)
対象者	① 令和2年3月末で応急仮設住宅の供与が終了する世帯 ② 平成31年3月末までに応急仮設住宅の供与が終了した世帯 ③ ①、②に掲げるもののほか、新たな住宅確保に向けた支援が必要な世帯

令和元年度避難者住宅確保・移転サポート事業委託先一覧

都県名	団体名	住所	相談窓口電話番号	相談受付日時
福島県	特定非営利活動法人 市民協福島	福島県福島市在庭坂字南林60-2	024-572-4266	月～金 午前9時～午後5時(祝日・年末年始除く)
茨城県	一般社団法人 ふうあいねっと	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城大学教育学部A棟413	029-233-1370	月・金 午前9時30分～午後2時 火～木 午前9時30分～午後4時30分(祝日・年末年始除く)
栃木県	一般社団法人 栃木県社会福祉士会	栃木県宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ3階	028-600-1725	月～金 午前9時30分～午後4時30分(祝日・年末年始除く)
埼玉県	公益社団法人 埼玉県社会福祉士会	埼玉県さいたま市中央区本町東1-2-5 ベルメゾン小島203号室	048-762-6012	月～金 午前9時～午後5時(祝日・年末年始除く)
千葉県	特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ	千葉県千葉市花見川区 検見川町3-159-2	080-5418-7286	月～金 午前9時～午後5時(祝日・年末年始除く)
東京都	社会福祉法人 やまて福祉会	東京都豊島区南池袋二丁目41-12	080-4173-5796	月～金 午前9時～午後5時(祝日・年末年始除く)
神奈川県	中高年事業団 やまて企業組合 川崎支店	神奈川県川崎市高津区 下野毛一丁目7-16	044-829-0056	月～金 午前9時～午後6時(祝日・年末年始除く)
新潟県	公益社団法人 新潟県社会福祉士会	新潟県新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ 3階	025-281-5502	月～金 午前9時～午後5時(祝日・年末年始除く)